

うさぎぐみ

～自分でできるよ～



少しずつ園生活に慣れ、身の回りのことを自分でやろうとする姿が増えてきました。朝の支度では、写真を見ながら一人でスモックをたたんでいます。ボタンは、はずすまでに時間が掛かることもありますが、「自分でやる!」と最後まで自分でやり切ろうとするようになってきました。困った時には、「先生、やって」「できない」と言いながら保育士と一緒に頑張っています。

自分でやろうとする姿を見守り、出来た時には褒めて、意欲に繋げています。

きいんぐみ

～保育園ごっこ～

きょうは、しがつの…
もくようびで～す!

みなさーん、
えほんよむよ～



まねしてね!



友達の前で、新しく覚えた手遊びをし始めると保育園ごっこの始まりです。先生になりきり、手遊びや絵本の読み聞かせ、誕生日会の司会、朝のサークルタイムなど、それぞれの印象深い場面を、ごっこ遊びの中で再現しています。

保育園ごっこの中で、友達との会話のやり取りを楽しんだり、イメージを共有して遊びを進めたりと、友達との繋がりを深めています。

らいおんぐみ

～バッタを見つけたよ～



バッタは葉っぱも
食べるんだよね!

息ができなくなっちゃうから
少し(袋を)開けておこう!

やっぱりバッタは
草が好きなんだね!



見つけたバッタを観察する際、袋の口を開けようとしたり、袋の中に草も入れようとしたりとバッタのことを考え、生命を大切にしようとする姿が見られました。しばらく観察をした後、バッタを逃がすことに…ここでは、逃がした途端に草の中で元気いっぱい飛び跳ねるバッタの様子を見て、気づいたことを口にする姿もありました。

図鑑や人から教えてもらって得た知識だけではなく、実際に目で見て身体で感じる経験をする中で、生命を大切にしようとする気持ちがより育っていくと感じました。